

滑川市防災パンフレット

能登半島地震の際、みなさんは 正しく行動できましたか？

次の設問をとおして、振り返ってみよう。

Q 1.

津波ハザードマップを
見たことがありますか？
自分の家がどのような
災害リスクがあるか把握
できていますか？



Q 2.

能登半島地震の際は徒歩
で避難しましたか？
津波災害時の「垂直避難」
「水平避難」を知ってい
ますか？



Q 3.

最寄りの指定避難場所、
避難所を知っていますか？
平時、災害時を問わず、
気象情報や防災情報を
正しく入手できますか？



防災知識を高め
災害を正しく恐れ
落ち着いて行動しよう！



Q 4.

「災害だ！避難所に行かなきゃ！」と
思い込んでいませんか？
【在宅避難】を想定し、
家庭で備蓄をしていますか？
非常用持出袋は準備していますか？



Q 5.

地域の防災活動に参加していますか？
消防団や防災士の活動を知っていますか？



地震や災害が起きたとき、落ち着いて行動するためには、日頃からの備えが大切になります。

8つのステップを学習し、いざという時の心構えを身につけましょう。

それぞれの問いに対する対応策は、次のページ以降で確認しましょう！

地震



津波



洪水



土砂災害



災害時の緊急情報など、最新の
情報は滑川市のホームページ
を確認してください。

発行 令和7(2025)年3月
作成 滑川市防災危機管理課
電話 076-475-0573

8つのステップで災害に備えよう

チェック欄

- ① 災害リスクをハザードマップで確認 ☐
- ② 家族での話し合い ☐
- ③ 避難場所等の確認 ☐
- ④ 地震発生時の避難行動の確認 ☐
- ⑤ 災害・防災情報の入手方法の確認 ☐
- ⑥ 備蓄品や非常用持出袋の用意・確認 ☐
- ⑦ 自宅の耐震化等の取り組み ☐
- ⑧ 町内や地域の防災活動への参加 ☐



実践したらチェックしよう。

①災害のリスクをハザードマップで確認しよう。

まずは、自宅や学校、職場など、よく行く場所やよく通る道などにどんな災害のリスクがあるか、各種ハザードマップで調べてみよう。



●滑川市災害ハザードマップ

各ご家庭に配布してある紙のハザードマップで確認しよう。

また、滑川市のホームページでも地震、津波、洪水、土砂災害の各ハザードマップを確認できます。



https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/bousaikikikanri/2_1/2/index.html

●なめりかわデジタルマップ

パソコンやスマートフォンで地図と連動した災害ハザードマップを確認することができます。

<https://www2.wagmap.jp/namerikawacity/>



②いざという時のために、家族で話し合っておこう。

災害が起きたとき、どこに避難し、どのように連絡を取り合うのか、事前に家族で話し合っておこう。

また、一時避難場所、指定緊急避難場所や指定避難所の位置を確認し、そこに到達するためのルートを複数確保し、家族で共通認識を持っておきましょう。

同様に、離れて暮らす家族とも災害時の対応を話し合っておきましょう。



●個別避難計画について

個別避難計画とは、ひとりで避難が難しい方に対し、災害時に『誰と』『どこへ』『どのように』避難するのかを事前に決めておく計画です。

現在市では、介護が必要な方や障害者手帳をお持ちの方で、ハザードマップで被害が想定される区域にお住まいの方を対象に、個別避難計画の策定を推進しています。<https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/11/4/1213.html>

(問合せ先 福祉課 TEL:076-475-1426)



③避難場所や避難所を確認しよう。

●避難所開設状況等の情報配信サービス「VACAN (バカン)」

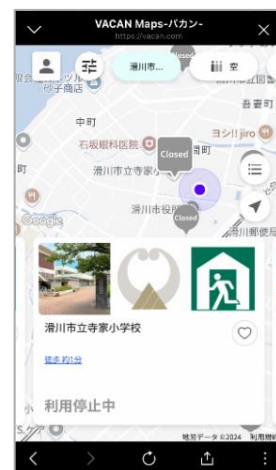
「VACAN (バカン)」で平時から指定避難所の場所をパソコンやスマートフォンで確認することができます。

なお、災害時には、指定避難所の開設状況や混雑状況をリアルタイムで確認することができます。

災害が起きたときに慌てず迅速に避難ができるよう、指定緊急避難場所や指定避難所を平時から確認しておこう。

また、災害により道が通れなくなることもあるので、事前に複数の避難ルートを考えておこう。

<https://vacan.com/area/namerikawa-city-evacuation/evacuation-center/12>



・VACAN (バカン) 表示内容

平時は、「利用停止中」と表示されています。

避難所開設時には、「空いてます」「やや混雑」「混雑」「満」の4段階で表示されます。

☆キラリンと学ぼう☆

「避難場所」と「避難所」の違いについて

避難場所 … 災害発生時に命を守るために緊急避難するための場所。公園や学校のグラウンドなど

避難所 … 災害により自宅が倒壊するなど、自宅に戻れないときに一次的に生活する場所(施設)



●滑川市の指定避難所一覧

No.	市指定避難所の名所	No.	市指定避難所の名所
1	寺家小学校	24	早月中学校
2	滑川市民会館大ホール	25	北加積小学校
3	滑川東地区公民館	26	滑川市農村研修センター
4	地域交流センター「青志会館」	27	北加積コミュニティ防災センター (北加積地区公民館)
5	滑川市総合体育センター	28	幼保連携型きたかつみ認定こども園
6	サン・アビリティーズ滑川	29	滑川市農村環境改善センター
7	滑川市立図書館	30	東加積小学校
8	滑川市民交流プラザ(3階・4階部分)	31	東加積コミュニティセンター (東加積地区公民館)
9	同朋幼稚園	32	みのわ健康休養施設(みのわ温泉)
10	同朋保育園	33	南部小学校
11	滑川コミュニティ防災センター	34	中加積地区公民館
12	田中小学校	35	中加積保育園
13	滑川高等学校	36	童和保育園
14	フットボールセンター富山	37	西部小学校
15	認定こども園たかつき保育園	38	滑川中学校
16	滑川市民健康センター	39	西加積地区公民館
17	働く婦人の家	40	滑川市社会福祉センター
18	西地区コミュニティホール (滑川西地区公民館)	41	認定こども園上小泉保育園
19	希望幼稚園	42	児童館
20	浜加積地区公民館	43	山加積コミュニティセンター (山加積地区公民館)
21	坪川保育所	44	中滑川複合施設「メリカ」(3階部分)
22	東部小学校		
23	早月加積地区公民館		

「津波」のとき、「No.14 フットボールセンター富山」は、2階以上に避難してください。

「地震」のとき、「No.9 同朋幼稚園」は、避難対象外です。

「洪水」のとき、No.2・14・15・18・32・36 は、避難対象外です。

No.1・4・12・13・16・17 は、2階以上に避難してください。

「土砂災害」のとき、「No.32 みのわ健康休養施設(みのわ温泉)」は、避難対象外です。

「高潮」のときは、すべて避難対象です。

●避難場所・避難所について（市ホームページ）

https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/bousaikikikanri/2_1/3/hinan/720.html



④地震発生時の避難行動を確認しよう。

地震発生時の避難行動を津波浸水想定区域^内・区域^外に分けて確認しよう。

【地震(津波)発生時】

避難行動フロー

地震発生

緊急地震速報

津波浸水想定区域は
津波ハザードマップで、
土砂崩れなどの区域は
土砂災害ハザードマップ
で確認しよう。



滑川市では、**最短3分**
で津波が海岸に到達
する可能性があるから、
急いで逃げよう！

発生直後

最初の大きな
揺れは **約1分**。
揺れがおまったら
次の行動を！

- まず、**自分の身を守る**（机の下などへ）
- 家具類の転倒や落下に注意する。
- 火の元から離れる。

はい

いいえ

津波浸水想定区域の**中**にいる

1
〜
2分

強い揺れを感じた、津波注意報・津波
警報・大津波警報が発表された場合、
自らの判断で迅速に避難行動を！

- 家族の安全を確認
- ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る
- 余震に備え、ドアを開け、出口を確保

3分

- ①**緊急時は**、自宅の2階以上や近くの
高い建物へ**避難**する。**(垂直避難)**
- ②逃げる時間があるときは、山側・線
路側に向かって津波浸水想定区域
の外へ**徒歩で避難**する。**(水平避難)**

- 自宅や周辺の被害状況の**確認**
倒壊の**恐れ**があるか？（耐震性の有無）
- 土砂崩れ・がけ崩れなどの**恐れ**があるか？

倒壊等の
恐れがある

倒壊等の
危険性がない

- 非常用持出品や
避難の準備
- テレビ、ラジオ、
スマホ等で情報
確認

◆**在宅避難**
(詳細はP7)
●余震等の状況を
注視

緊急性等
状況に
応じて

津波到達

5分

- 家族の安否確認
- テレビ、ラジオ、スマホ等で
情報確認
- 海や川には絶対近づかない。

- 隣近所の状況を確認
- 隣近所で助け合う（初期消火や救護）
- 高齢者や障がい者などの安否確認

10分

近くの公園やグラウンドなどの一時避難場所、指定緊急避難
場所や知人宅などへ避難する。

数時間後

地震や津波がおさまり危険がなくなったら帰宅の検討
(津波警報・大津波警報が解除されたら)

ある

ない

自宅に被害はあるか

自宅に被害があり生活できない

自宅に被害がない（又は軽微）

不安な場合

指定避難所や知人宅へ行く

帰宅する（在宅避難）

⑤災害情報や防災情報の入手方法の確認

災害時に安全な行動をするためには、日頃からの情報収集が重要です。適切な避難行動がとれるよう、信頼できる情報元から複数の手段で情報を入手しよう。

滑川市の情報

●滑川市ホームページ

災害時にはトップページに災害情報を掲載します。

<https://www.city.namerikawa.toyama.jp>



●滑川市公式SNS



LINE



X(エックス)



Facebook



●メール配信サービス

電子メールで災害情報を配信します。メールの受信には、事前の登録が必要です。

①パソコン・スマホで登録

<https://plus.sugumail.com/usr/namerikawa/home>



②フィーチャーフォンで登録

<https://m.sugumail.com/m/namerikawa/home>

<バックナンバーの確認> <https://plus.sugumail.com/usr/namerikawa/doc>



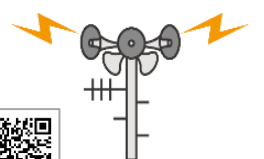
●緊急速報メール（エリアメール）

災害時には、市から緊急情報を、携帯電話やスマートフォンに一斉配信します。現在、NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天の4社に対応しています。

●防災行政無線（屋外スピーカー）

災害時に防災行政無線で、災害情報を放送します。放送された内容は、市ホームページや下記の電話応答サービスにて確認できます。

<https://www.city.namerikawa.toyama.jp/kurashi/6/4/1/7467.html>



防災行政無線の電話応答サービス TEL：076-475-5050

※防災行政無線で放送した内容を放送後 48 時間まで確認することができます（通話料がかかります）

●防災ラジオ

ご家庭で防災行政無線と同じ放送を聞くことができます。購入を希望する場合は、防災危機管理課の窓口にお越しください。（1 個 2,000 円（税込）で販売中）



●町内会運営アプリ「結ネット」

災害時には、市から緊急情報を自治会長等へ配信します。

<https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/dx/dxsonota/7948.html>



●Yahoo！防災速報（アプリ）

災害情報が入手できるほか、マイタイムラインの作成ができます。



●テレビ

リモコンのdボタンを押すと、NHKのデータ放送で、警報や避難情報、避難所の開設状況などを確認することができます。

富山県の情報



二次元コードをスマホで読み込み、内容を確認してみよう。

●富山防災WEB

富山県内の気象情報や防災情報などを確認できます。

<https://preftoyama.secure.force.com/bousai2/>



●富山県土砂災害警戒情報支援システム

富山県内の土砂災害警戒情報を確認できます。

<https://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/>



●シームレスデジタル防災マップ

富山県内のハザードマップを1つの地図上で確認できます。

<https://publicsite.tdcp.pref.toyama.jp/>



●耳で聴くハザードマップ (Uni-Voice Blind アプリ)

災害情報や防災情報を音声で聞くことができます。



気象情報・河川情報

●気象庁 キキクル

土砂災害、浸水、洪水災害の危険度の高まりを地図で確認できます。

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=class20s&area_code=1620600



●気象庁 富山地方气象台

<https://www.data.jma.go.jp/toyama/>



●国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp>

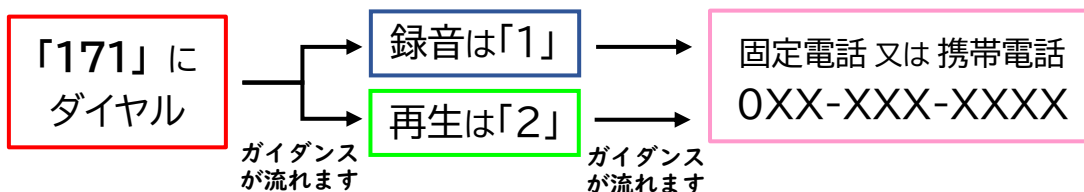


安否確認 (災害用伝言サービス)

災害時は、固定電話も携帯電話も混雑しつながりにくくなります。
このような場合には、災害用伝言サービスをご利用ください。



・災害用伝言ダイヤル「171」



・災害用伝言板「web171」 → インターネットで「web171」と検索

災害用伝言サービスは、毎月1日と15日、正月三が日(1月1日～3日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)、防災週間(8月30日～9月5日)、に体験利用することができます。
事前に利用方法を確認しておきましょう。

⑥備蓄品や非常用持出袋の用意・確認

災害に備えて日頃から備蓄品や非常用持出品を用意しておこう。
災害時に、自宅の倒壊や損傷、浸水、流出の危険性がない場合は、

【在宅避難】を選択しましょう。

【在宅避難】の基本（自宅の備え）は、食料や簡易トイレ等の備蓄や耐震性の確保（P9）です。食料等は最低**3日分**、できれば**1週間分**を備蓄しておこう。



季節ごとなど定期的に
に中身を見直そう

備蓄品（【在宅避難】を想定し、自宅に備えておくもの）

チェックリスト

- | | |
|--|--|
| ☐ 食料（レトルト食品・アルファ米・缶詰など） | ☐ 給水用ポリタンク |
| ☐ 飲料水（1人1日3Lが目安） | ☐ 生活用水（風呂の残り湯など） |
| ☐ 簡易トイレ（1人1日5回分が目安） | ☐ メガネ・コンタクトレンズ（洗浄液含む） |
| ☐ トイレットペーパー | ☐ 救急箱（消毒液・包帯・常備薬など） |
| ☐ カセットコンロ・カセットボンベ | ☐ ゴミ袋・ポリ袋 |
| ☐ ラップ・アルミホイル | ☐ ゴム手袋・軍手 |
| ☐ 紙皿・割りばし | ☐ スリッパ・長靴 |
| ☐ ライター・マッチ | ☐ ヘルメット |
| ☐ ランタン・ろうそく | ☐ 乾電池 |



●ローリングストックについて

普段から食料を少し多めに買って置き、古いものから消費して、消費した分を買い足す「ローリングストック」で、無理なく備蓄しておきましょう。



非常用持出袋（万が一の避難に備え、自宅に備えておくもの）

チェックリスト

右のページを参考に特に自分にとって必要なものを書き込み、マイ非常用持出袋を準備しよう。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ☐ _____ | ☐ _____ |
| ☐ _____ | ☐ _____ |
| ☐ _____ | ☐ _____ |
| ☐ _____ | ☐ _____ |
| ☐ _____ | ☐ _____ |



☆キラリンと学ぼう☆

地震災害の際に**無くて困った**ものは？

- ・非常用トイレ（携帯トイレ）
- ・飲料水
- ・食料品
- ・充電器（モバイルバッテリー）
- ・持病の薬



トイレがしたくてもできない状況や、水や食料が手に入らない状況は、想像しただけでも大変だね。スマホは充電がなくなると使えないよね。

非常用持出袋（リュックなどに入れ、持ち出しやすい場所に保管する）

チェックリスト

- | | |
|--|---|
| ☐ 非常食（カンパン・缶詰など） | ☐ 救急薬品・常備薬（持病の薬） |
| ☐ 飲料水（500mL×2～3本） | ☐ 衛生用品（歯ブラシ） |
| ☐ モバイルバッテリー（ケーブル含む） | ☐ 使い捨てマスク |
| ☐ 雨具・折りたたみ傘 | ☐ タオル・ハンカチ |
| ☐ 非常用トイレ（携帯トイレ） | ☐ ポケットティッシュ |
| ☐ 衣類・下着 | ☐ ウェットティッシュ |
| ☐ 懐中電灯（ヘッドライト） | ☐ メガネ・コンタクトレンズ |
| ☐ 携帯ラジオ（予備の乾電池含む） | ☐ 使い捨てカイロ・扇子 |
| ☐ ホイッスル | ☐ わりばし・スプーン |
| ☐ 貴重品（現金・運転免許証・個人番号カードなど） | ☐ 紙皿・コップ |
| ☐ 緊急連絡先メモ | ☐ ビニール袋 |
| ☐ 内ばき、スリッパ | |



子どもがいる家庭の備え

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ☐ 粉ミルク・液体ミルク・離乳食 | ☐ 使い捨て哺乳瓶 |
| ☐ 紙おむつ・おしりふき | ☐ おやつ（食べなれたもの） |
| ☐ においの出ないゴミ袋 | ☐ 落ち着けるおもちゃ・絵本 |



高齢者がいる家庭の備え

- | | |
|-------------------------------------|--|
| ☐ やわらかい食品 | ☐ 持病の薬・お薬手帳のコピー |
| ☐ 大人用紙おむつ | ☐ 吸水パッド |
| ☐ においの出ないゴミ袋 | ☐ 杖・入れ歯・補聴器 など |



女性の備え

- | | |
|---|--------------------------------|
| ☐ 生理用品（ナプキン・サニタリーショーツ） | ☐ 防犯ブザー |
| ☐ 中が見えない色のゴミ袋 | |



ペットがいる家庭の備え

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ☐ ゲージ・首輪・リード | ☐ ペットフード・水・皿 |
| ☐ ペットシーツ・トイレシート | |



※ 常備薬（持病の薬）など、災害時にすぐに入手できないものは、各自で用意しておこう。

※ ほかに各家庭で、必要なものや保管場所を話し合い、事前に用意しておこう。

⑦自宅の耐震診断、耐震改修や家具の転倒防止対策をしよう。

地震で自宅が倒壊しないよう、耐震診断や耐震改修工事により、地震に備えよう。

(1)自宅の施工年数を確認しよう

耐震基準の種類		
旧耐震基準	新耐震基準	2000年基準
1981年(昭和56年)5月以前に建築された住宅。 震度6以上の大地震で倒壊する危険性が高い。	1981年(昭和56年)6月以降に建築された住宅。 震度6以上の大地震で倒壊する危険性は低い。	2000年(平成12年)5月以降に建築された住宅。 震度6以上の大地震で倒壊する危険性は低く、被害も軽微に抑えられる。

※ 耐震基準が古い住宅ほど、地震で被害が大きくなる傾向があります。

●耐震診断・耐震改修工事について

滑川市では、木造住宅に対する補助制度があります。

・住宅の耐震について

<https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/17/4/2/7715.html>

・木造住宅の耐震改修工事費用の補助について

<https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/17/4/2/7714.html>

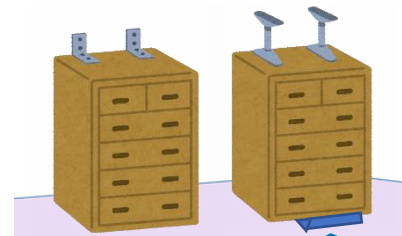
(問合せ先 都市計画課 TEL:076-475-1453)



(2)家具類の転倒防止対策をしよう

地震でケガをする原因の多くが、家具の転倒・落下・移動によるものです。また、転倒した家具類が原因で火災が発生することもあります。寝室やリビングなどにある家具を減らす、配置を工夫する、家具や家電を固定するなどの転倒防止対策を実施しよう。

L字金具 支え棒(つっぱり棒)



支え棒式では、家具の下に転倒防止用プレートを入れると効果が高まります。

●避難経路の確保について

できるだけ生活空間には物を置かずに収納しよう。扉の近くや廊下に家具を置かない、玄関や階段には荷物を置かない、避難経路がふさがれないようにしておきましょう。

<参考> 東京消防庁ホームページ

家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック

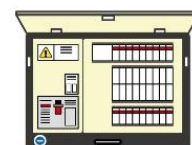
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/learning/elib/kagutenhandbook.html>



(3)感震ブレーカーを設置しよう

過去の震災において発生した火災の過半数は、電気関係による出火が原因でした。感震ブレーカーは、地震発生時に揺れを感知したら、自動的にブレーカーを切ることから、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がないときなどに、電気火災を防ぐ効果があります。

https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/bousaikikikanri/2_1/3/9449.html



⑧町内や地域の防災活動に参加しよう。

大規模な災害が発生したとき、被害の拡大を防ぐためには、国・県・市による対応（公助）だけでは限界があります。自分の身は自分で守る（**自助**）とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人たちが集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に取り組むこと（**共助**）がとても重要です。

町内や地域での防災活動や防災訓練などに参加し、災害に備えよう。また、日頃から地域や近隣の方とコミュニケーションをとっておくことが大切です。



滑川防災士連絡協議会

「地域の防災力」の向上をお手伝いします！

滑川防災士連絡協議会は、市内在住の防災士が集まり結成した団体です。町内会や各種団体を対象とした防災講座への講師派遣、防災訓練への参加協力、地域の自主防災計画の作成に関する助言などの活動を行っています。

地域の身近な防災リーダーとして、地域の自主防災活動をサポートしますので、防災講座やワークショップなどの開催については、お気軽に防災危機管理課（TEL:076-475-0573）までお問い合わせください。



滑川市消防団

消防団では、火災のほかにも、地震や風水害などの大規模災害時に、救助・救出・避難誘導・警戒・防除などの活動を行っています。

「自分たちのまちは自分たちで守る」

市では、男女限らず消防団員を募集していますので、あなたも人とまちを守る消防団に入ってみませんか？



消防団員募集



滑川市消防団について
（市ホームページ）

表紙Q & A

表紙の問いに対する「あなた」の答えはどうでしたか？
裏面を読んでから、もう一度家族で話し合ってみてください。

Q1. 津波ハザードマップを見たことがありますか？ 自宅の災害リスクは把握できていますか？

→ P 1 参照

- A. 津波ハザードマップには、津波による被害が想定されるエリアや深さ、適切な避難行動など、命を守るために必要な情報が掲載されています。災害発生時に正しく避難の判断ができるよう、津波ハザードマップを事前に確認し、自宅や職場などの浸水想定を把握しておきましょう。



Q2. 能登半島地震の際は徒歩で避難しましたか？ 津波災害時の「垂直避難」「水平避難」を知っていますか？

→ P 4 参照

- A. 災害時に避難する際は、渋滞による逃げ遅れなど二次災害を防ぐため、徒歩での避難が原則です。また、津波からの避難では、近くの高い建物や自宅の2階以上へ逃げる「垂直避難」と、浸水想定区域の外に逃げる「水平避難」の2種類があります。滑川市では、津波が最短3分で海岸に到達する可能性があることから、浸水想定区域内にお住まいの方は、津波災害時には「垂直避難」を実施しましょう。



Q3. 最寄りの指定避難場所、避難所を知っていますか？ 気象情報や防災情報を正しく入手できますか？

→ P 2、3、5、6 参照

- A. 避難場所を事前に把握していないと、発災時に避難に時間がかかってしまいます。平時から、最寄りの指定避難場所や指定避難所を確認しておきましょう。また、近年災害時にはメールやSNS等により、真偽不明のデマ情報が拡散されています。デマ情報に惑わされないよう、日頃から信頼できる情報の入手先を確認しておきましょう。



Q4. 【在宅避難】を想定し、家庭で備蓄をしていますか？ 非常用持出袋は準備していますか？

→ P 4、7、8、9 参照

- A. 市では、自宅の倒壊や焼失などにより、備蓄品を持ち出せなかった人の分の数量を想定し食料等を備蓄していますが、不足する事態も考えられます。自宅等に危険性がない場合の【在宅避難】に備えて、各家庭で3日～1週間分の食料や飲料水等を備蓄しておきましょう。また、万が一の避難に備え、非常用持出袋を準備しましょう。



Q5. 地域の防災活動に参加していますか？ 消防団や防災士の活動を知っていますか？

→ P 10 参照

- A. 大規模な災害が発生した時に、被害の拡大を防ぐためには、町内や地域を中心とした共助の役割が大変重要です。町内や地域の防災活動に参加し、災害に備えよう。また、消防団や防災士は、地域の防災力の向上や減災機能の強化に向けて日々地域で活動を行っています。



問合せ先：滑川市防災危機管理課
TEL:076-475-0573